



# 日進北小だより

令和3年8月26日 第5号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標:

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する  
～日本一 すてきなあいさつ 日北っ子～



## 「感謝」と「リスペクト」

校長 平塚 信也

今年も昨年に引き続き、まだまだ感染拡大に気をつけての2学期スタートとなりました。まさかこれほどの長期間になるとは思っていませんでした。ウイルスを自然と考えてよければ、自然の恐ろしさを感じるとともに何か大きなものへの畏怖を感じます。

さて、今年の夏にはオリンピックが開かれました。パラリンピックも一昨日開幕しました。我々教育関係者はこの機会をとらえて、子どもたちに何を教えればよいのか考えていました。コロナ禍でオリンピック・パラリンピック開催の是非は様々なものがあると思いますが、きっと一生に一度の機会だったのだと思います。成長途中の子供たちにとっては、よいこともよくないこともすべてが経験です。このオリンピックからどんなことを伝えるのかは大人の責任だと思います。

今回のオリンピックでは危機管理やリーダーシップ、人権意識などたくさんのことを考えさせられました。選手のインタビューでよく耳にした言葉に「感謝」がありました。多くの選手は「まず、このコロナ禍で開催してもらったことに感謝したい」と述べていました。今年ほど本当に感謝しながらプレーしている姿を感じたオリンピックはありませんでした。それはどの国の選手もそうでした。その感謝が日本にも向けられているのを感じるとすこしうれしくなりました。そして、それぞれの選手の一生懸命のプレーに心から勇気もらいました。どんなことをするときでも感謝する気持ちをもつことは大切です。このことは子どもたちにぜひ伝えたいと感じました。

もう一つ気になったのは「リスペクト（尊敬）」という言葉でした。新しい競技では大変若いメダリストが誕生しました。そして新しい競技ではメダル争いをしながらもお互いをリスペクトし合っていると話しているのは大変新鮮でした。強いからすごい、勝った方が偉いと考えがちですが、勝敗は抜きにして挑戦すること、努力してきたことに価値を認め敬意を表し合っている姿に大変すがすがしい感動を覚えました。「リスペクトし合う」それは大人も子どもも変わりません。そのような人間関係の大切さも伝えたいと思います。

一昨日、教育長のメッセージが届いたことと思います。本日、本校の取組について保護者の皆様には手紙でお知らせしました。メールにもありました通りオンラインによる授業を開始いたします。はじめての挑戦で不具合やご家庭にお願いすることもあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。最後になりますが、コロナ禍でストレスもあると思います。子どもたちの心身の様子にはぜひご留意をお願いします。気がかりなことがありましたらすぐにご相談ください。子どもたちを守るために、2学期も変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。